

ダムっ湖

vol.7



2004.10.15
三国川ダム管理所発行



さぐくん

第2回 花・人・みどりの水源地域活性化大賞
「金賞」を受賞した五十沢小学校のみなさん



りっちゃん

自然とふれあい、自然を満喫してみませんか？



今、しゃくなげ湖は色とりどりの紅葉に包まれ、満々と湛えられた湖面に打ち寄せるさざ波と銀色に映えるススキの花穂がさわやかな秋風にそよぐ様はなんとも風情があります。

空を見上げれば抜けるような青い空、間もなく越後三山にも初冠雪が見られるでしょう。

三国川ダムに来たらチョット足を伸ばして、十字峡までトレッキングなどしてみたいはいかがでしょうか？紅葉と溪流美を楽しむことができます。十字峡より徒歩で20分くらいのところに「虹の滝」があります。三国川の渓谷に糸のように滴り落ちる湧水が、光りにより虹を作ることからこの名前が付けられたそうです。

是非一度、ご家族・お友達と足を運んで紅葉を楽しんでみてはどうでしょうか。



特集 7月16～18日出水

16・17日 2日続けて管理開始以降 最大流入量記録更新するもダムは所期の効果を発揮

去る7月13日に三条市・見附市・中之島町等^{じんだい}で甚大な被害をもたらした「新潟・福島豪雨」、また翌週17・18日の「福井豪雨」では、忘れかけていた洪水の恐ろしさをまざまざと見せつけられました。

三国川ダムでも7月1日より活発な梅雨前線により断続的に洪水に見舞われましたが、7月16・17日の両日、2日間続けて管理開始以降最大の流入量を記録する大出水に見舞われましたので、その概要をお知らせします。

16日は最大流入量 毎秒377.5立方メートルを記録

16日は、午後より雨が降り始め、洪水の恐れがあるとの判断の元、17時より洪水警戒^{けいかい}体制を発令しました。その後、19時・20時には連続して時間2ミリメートルという強い雨が降り続き、連続雨量は99ミリメートルに達しました。

ダムへの流入量は、20時43分に毎秒377.5立方メートルを記録し、平成6年の管理開始以降最大となりました（従来の記録は平成10年9月1日洪水（台風5号）連続雨量160ミリメートル 最大流入量毎秒362.5立方メートル）。

ダムからの最大放流量は毎秒60.3立方メートルであり、約308万立方メートルの水を貯留し、毎秒317.2立方メートル¹の洪水調節を行いました。

17日は再び記録更新。連続雨量は160ミリメートル、2日雨量は昭和44年8月を越える

16日の雨は夜半には降り止んだものの、17日は再び夕方から雨が降り始めました。管理所では、次の洪水に備え貯水水位を下げるため、前日より洪水警戒体制を継続し、引き続き警戒を強めていました。

雨は夜半にかけて強く降り続き、17日23時には時間32ミリメートルという非常に強い降雨を記録。降り止んだ翌18日朝6時までに連続雨量で160ミリメートル、前日の降雨も合わせた2日雨量としては259ミリメートルにも達しました。

これは連続雨量としては平成10年の記録に並び、2日雨量としてはダム建設の契機^{けいき}となった昭和44年8月洪水（11・12日の2日雨量198.5ミリメートル）を越える記録です。

ダムへの流入量は、17日23時30分に毎秒489.5立方メートルを記録し、前日の記録をあっさり更新することになりました。

ダムからの最大放流量は毎秒72.8立方メートルであり、約567万立方メートルの水を貯留し、毎秒416.7立方メートル²の洪水調節を行いました。

仮に三国川ダムがなかったとしたら、五十沢川合流点下流の深沢橋地点では水位が1メートル以上高かったものと推定され、被害軽減に大きな効果を発揮したものとされます。

この間、ダム上流の十字峡の親水護岸で若干の被災があったものの、ダム本体及び各設備では特段のトラブルもなく、無事所定の効果を発揮することができました。

なお管理所では、貯水水位の状況、気象状況等から20日8時30分によく洪水警戒体制を解除するに至りました。

1 最大流入量377.5立方メートル - 最大放流量60.3立方メートル

2 最大流入量489.5立方メートル - 最大放流量72.8立方メートル

「雨量」について

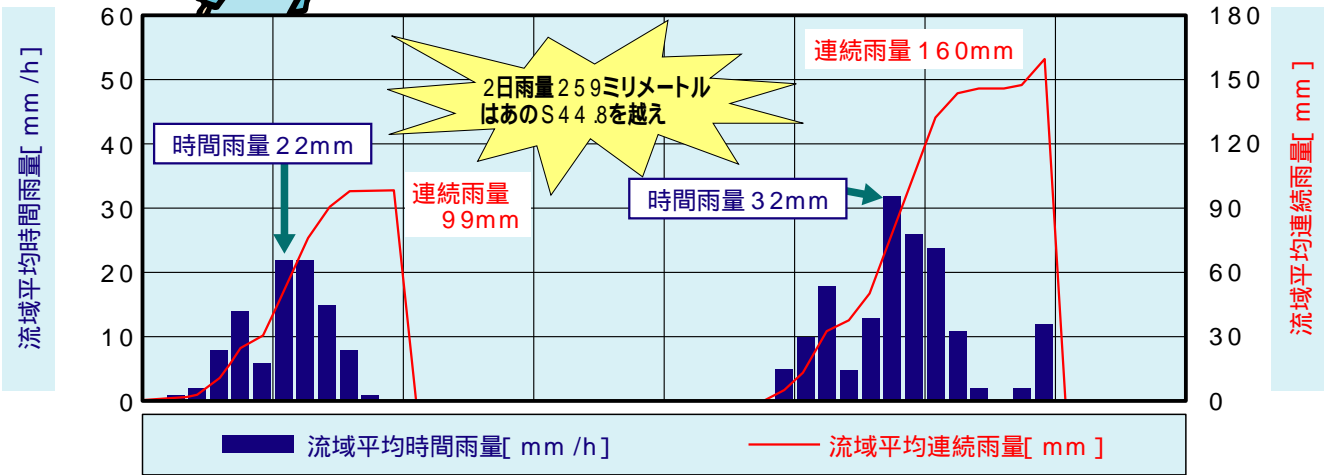
本文中の雨量については、昭和44年8月洪水は東北電力 五十沢観測所のデータ、それ以外は全てダムの流域平均値です。



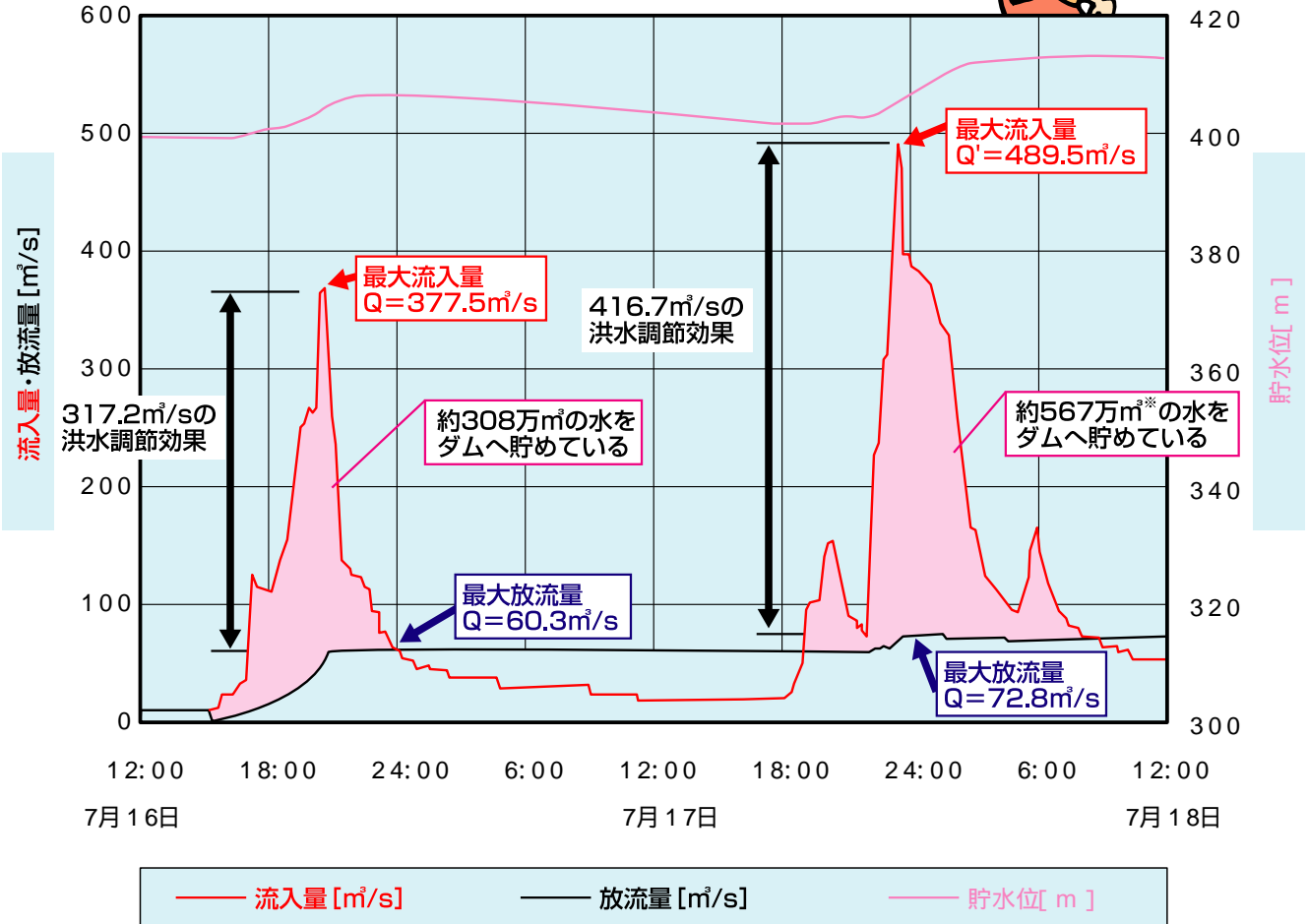
平成16年7月16日~18日 三国川ダム出水記録



雨量データ



洪水データ



567万立方メートル = 小中学校のプール2万杯以上

おめでとう!!
六日町立 五十沢小学校
 第2回 花・人・みどりの水源地域活性化大賞
「金賞」受賞



五十沢小学校はダムへ至る道路沿いの花壇を「花の丘」と名付け、花の植栽・手入れを全校児童で行っています。4月の土おこしから始まり、苗植え・草取り・降雪前の枯れた花取りまで、8ヶ月にも及ぶ作業を11年間継続して行っており、子供達に育てられた花々は、地元の方々や訪れる観光客の目を楽しませています。

この活動が地域の活性化に役立っているとして、前(財)しゃくなげ湖畔開発公社事務局長の江部恒治さんが大賞事務局へ推薦し、厳正なる審査を経て、第2回花・人・みどりの水源地域活性化大賞金賞(全国で2点)を見事受賞したものです。

表彰式は、7月24日・25日に富山県の宇奈月ダム湖畔で行われた「全国森と湖に親しむつどい」の中で行われ、五十沢小学校の小林校長先生が代表して出席されました。



表彰状を受け取る小林校長先生



始業式の帰り道にみんなが花壇の手入れ

この賞は、水源地域活性化に主体的に連携・協力する様々な活動のうち、ダム周辺における植栽活動等を始めとした6つの分野において、継続的に実行され、その功績が顕著であると認められた団体及び個人に贈られるものです。

子供達が育てている「花の丘」をぜひ一度ご覧ください



三国川の環境改善に向けたダムの運用方法を検討します

第1回「三国川ダム下流河川環境検討協議会」開催

三国川ダムのように洪水調節を目的としたダムでは、洪水の回数が減るなど、ダムが何らかの形でダム下流の河川に対して環境面で影響を与えることは避けられません。

そのような中でも三国川ダムでは、平成9年度よりダム下流の発電所によって水がバイパスされていた区間の水量を回復したり、平成14年度には人工小洪水を起こす「フラッシュ放流試験」を実施するなど三国川の環境改善に少しでも寄与できるよう努めてきました。

また、平成6年のダム管理開始以降、ダム周辺のみならず下流の三国川でも魚類や植物など生物の生息状況についての調査も進めてきました。

今般、管理開始以降10年を経過したのを機に「三国川ダム下流河川環境検討協議会」(委員長:本間 義治 新潟大学名誉教授)を設立し、去る7月26日に第1回協議会を開催しました。

本協議会では、

- ・ダム設置による下流河川での自然環境への影響と評価について検討を深める
- ・自然条件・社会条件からダム下流河川環境のあり方について地域合意を図る
- ・よりよい河川環境を念頭に置いたダムの運用方針について検討を行う

ことを目的としており、当日は協議会の設立及び規約について承認を頂いた後、早速現地調査を実施し、その後各委員より三国川ダムにおける下流河川の環境について幅広く感想・意見を頂きました。

本協議会については2～3年で一定の結論を見いだすことを目標に、今年度はもう1回の開催を予定しています。

「三国川ダム下流河川環境検討協議会」名簿 (順不同 敬称略)

氏名	役職等	氏名	役職等
本間 義治	新潟大学名誉教授	山岸 一夫	魚野川内水面漁業協同組合五十沢支部長
早川 典生	長岡技術科学大学名誉教授	渡辺 新一	東北電力(株)新潟支店長岡技術センター所長
西山 邦夫	元長岡市立科学博物館長	高橋 明夫	五城土地改良区理事長
丸山 澄夫	六日町地域振興局地域整備部長	大平 修平	六日町議会議員
井口 一郎	六日町長	平賀憲太郎	三国川ダム管理所長
長 嘉松	(財)しゃくなげ湖畔開発公社理事長		

3,000人+紅葉の季節=????人

三国川ダムではダムを実際に見ていただく、その役割・必要性を理解していただく、平成12年からダム点検用地下トンネル「監査廊(かんさろう)」の一般公開を行っています。また昨年からは、より多くの方々から見ていただけるよう土・日・祝祭日の公開も始めました。

今年も9月30日現在で、ご覧いただいた方が3,000人を超え、昨年の同日と比べると大幅に増えています。このペースで行くと昨年を上回ることは間違いありませんが、実はこの「ダムっ湖」をお配りしている六日町・塩沢町・大和町の方々の見学が少ないのです。(見学者へのアンケート調査より。)

これからの紅葉の季節、ぜひ一度三国川ダムへ足を運んでみてはいかがでしょうか。お待ちしております。

10・11月監査廊公開日

公開日

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

見学時間は1日6回、9・10・11・13・14・15時からの約40分間です。各見学開始時刻の10分前までに展示室受付へお越し下さい。



⑥

いつもきれいな花をありがとうございます



三国川ダム沿道に花を植えて下さっているのは、六日町津久野の今井久美さんご夫婦です。花を植える様になったきっかけと苦労話を奥さんの初江さんにお話を伺いました。

三国川ダムが完成したときに、入り口ゲートの花壇と東屋附近が殺風景だったので、関係機関にお話をして花を植え始めてから6年目となります。

ダム入り口であるゲートの花壇は花色の明るいサルビア、ペチュニア、ベゴニア、メラポジウムなどで華やかになるように。阿寺沢の東屋附近は、春は水仙、マーガレット、タンポポ、夏から秋にかけてバラ、キンケイ菊、コスモス等、毎年植えなくて良いような球根、宿根草、こぼれ種で毎年花が咲くものなど、周りの自然に溶け込む花を植えています。自宅より10km位離れているので、水やりや草取りが思うように出来なく、手入れが行き届かないのが残念ですね。時には心ない方に、植えたばかりの花を根ごと抜き取られたり、ようやく増えて喜んでいたのに花の一部がなくなった時はガッカリします。

将来は三国川ダムへ続く沿道の路肩にも東屋附近の様な花が季節折々に咲く、そんな花一杯のダムになったら良いなと思います。



しゃくなげ湖まつり・野外ライブで大活躍! 「野外ステージ」の独り言

僕の名前は「野外ステージ」。きっと皆さんは「監査廊・露天風呂は知っているけど、知らないなー」って思うでしょうね。

普段の僕は、じみーに出番を待つ目立たない存在なのです。でもその時が来るとダムを客席に何百人もの人達が僕を見てくれるのです。でも、実際はステージで演じられる催しを観ているのだけだね・・・。

今年も「しゃくなげ湖まつり」では、地元の方々が歌舞伎などを演じてくれたし、夏休みには若いお兄さん方が、ライブを開いてくれました。そしていっぱいの方々が僕を見てくれました。でも間もなく冬・・・と思っていたら、またまたライブが開催されることとなりました。もうがんばりするぞ! **日時: 10月23日(土) 11:00~16:00 出演: 六日町地域のアマチュアバンド**



十字峡の秋の渓谷美をお楽しみ下さい

10月30日(土) しゃくなげ湖紅葉ウォーク開催

お問い合わせ・申し込みは、(株)FM雪国(TEL 025-778-1500)まで



「三国川ダム写真コンテスト」まもなく切



三国川ダムの新たな価値・魅力の再発見を目的に写真コンテストを開催しています。現在作品を募集中ですが、**10月30日(土)**で切となりますので、ご応募される方はお早めをお願いします。応募要領は、三国川ダムホームページ (<http://www.hrrm.lit.go.jp/saguri/>) からダウンロードできます。

編集後記

今年の夏は、豪雨、猛暑、地震など、自然災害のニュースをよく目にしました。特に、7月の「新潟・福島豪雨」では甚大な被害が出ました。三国川ダムにおいても、7月1日には管理開始以降最大の流入量を記録し、魚野川においても警戒水位を超えました。今後も防災体制については、万全を期して行きたいと思っております。

さて、季節は秋を迎え、三国川ダム周辺は絶好の紅葉スポットになります。紅葉狩りに是非訪れてみて下さい。「監査廊見学」もお待ちしております(*^_^*) (編集部一同)

編集・発行

国土交通省北陸地方整備局 三国川ダム管理所

〒949-6741
新潟県南魚沼郡六日町大字清水瀬 686-59
TEL (025) 774-3015
FAX (025) 774-3092
<http://www.hrrm.lit.go.jp/saguri/>

